

子どもの未来応援団報告書（伊那谷再発見）

表題：あずさんコケコとあずさんらん卵と私たち

学校・団体名：南部小学校

活動グループ名：6年1組

担当者・教諭名：森田 正之

活動人数：22人

（1）活動を始めた理由

南箕輪村が誇る長野県原産地呼称認定米『風の村米だより』。このお米を栽培しておいしい卵料理を作りたいと願い、そして始めた鶏飼育の2年目です。

6年生になって最初の日、開口一番に子どもたちから飛び出したのが「卵をかえしたい！」「いや、かえしたくない」という話し合いでした。卵を孵してヒヨコを育てたり、採卵して、その卵を使った調理活動をしたりしてきました。そして、卒業を控えた子どもたちが、飼育してきた鶏をどうするのかを考え合ってきました。

（2）活動内容・活動の写真

1 卵を孵そう



4/27 孵す卵を自分たちで選ぶ



5/18 孵る予定の日。音がする？



5/18 下校後、ズームで観察



5/18 20:09 2羽目が出てくる



5/18 22:47 4羽目



5/19 やった、かわいいヒヨコ



生まれなかったヒヨコ。中は？



最後まで頑張って生きようとしていたんだ

2 ヒヨコを育てよう



水の飲み方を教えよう



ヒヨコの体重を量ろう



毎日の掃除は欠かさずに



触れ合いも欠かさずに

3 小屋を作ってヒヨコを外の小屋で飼おう



4 大芝高原祭りで、畑のジャガイモと卵を売ろう



5 卵で作ろう



毎日 10 個以上採卵

チョコレートプリン

マカロン

フレンチトースト



弁当作り

大芝高原遠足

チャーハン作り

オムライス作り

6 中沢小 4 年生、南箕輪小 6 年 3 組とコケコ交流



中沢小 4 年生と交流。オスがお嬢さんに行きます

南箕輪小と交流。うちの卵を孵してヒヨコを育てています

7 黄身の色を赤っぽくしちやおう大作戦



2羽を隔離してパプリカパウダー入りのえさを13日間与えたら→黄身の色は赤っぽくなり、コケコの足も赤くなってしまった

8 飼い主の責任とは？「最後まで自分の手でやってやろうと思う」について考えよう

(4) 活動結果

○家畜が生まれること、死ぬこと、人間が他の命をいただくことによって生きていることについて考えを広げたり深めたりすることができた。

●アニマルウェルフェアや輸入飼料と畜産の関わり等、現代的な課題を探求的な学習に広げようと試みたが十分な深まりまで至らなかった。地域の養鶏家や大学の協力を得ながら活動を進めたかった。